

1. 略歴

- 1992年3月 延世大学校社会科学大学社会福祉学科入学 (韓国ソウル特別市)
- 1999年8月 延世大学校社会科学大学社会福祉学科卒業
- 2000年4月 東京大学大学院人文社会系研究科修士課程 (社会学専門分野) 入学
- 2002年3月 東京大学大学院人文社会系研究科修士課程 (社会学専門分野) 修了
- 2002年4月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程 (社会学専門分野) 進学
- 2003年5月 日本福祉大学 21世紀 COE プログラム奨励研究員 (2005年3月まで)
- 2004年4月 日本学術振興会特別研究員 (DC2 2005年3月まで)
- 2005年3月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程 (社会学専門分野) 単位取得満期退学
- 2005年4月 日本学術振興会特別研究員 (PD 2006年3月まで)
- 2006年4月 東京大学社会科学研究所客員研究員 (2007年3月まで)
- 2007年3月 博士 (社会学) 学位取得 (東京大学)
- 2007年4月 東京大学社会科学研究所 助教
- 2008年10月 北京大学社会学系客員研究員 (2009年1月まで)
- 2010年4月 東京経済大学経済学部 専任講師
- 2012年4月 東京経済大学経済学部 准教授
- 2016年4月 明治学院大学社会学部 准教授
- 2018年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 単著

『後発福祉国家論——比較のなかの韓国と東アジア』東京大学出版会, 2008年11月, 264頁

『福祉国家の日韓比較——「後発国」における雇用保障・社会保障』明石書店, 2016年2月, 195頁

(2) 編著

〔単編著〕『現代の比較福祉国家論——東アジア発の新しい理論構築に向けて』ミネルヴァ書房, 2010年3月, 579頁

〔共編著〕*A Post Orientalist Approach to East Asian Welfare Regimes* (Shogo Takegawa との共編) Toshindo Publishers, 2012年8月, 272頁

〔共編著〕『アジアにおける高齢者の生活保障——持続可能な福祉社会を求めて』(大泉啓一郎・松江暁子との共編) 明石書店, 2017年5月, 234頁

(3) 共著

『韓国の福祉国家・日本の福祉国家』東信堂, 2005年12月, 308頁 (武川正吾・金淵明編。分担執筆「生産的福祉」と韓国福祉国家性格論争」32-53頁)

『福祉国家の形成・再編と社会福祉政策 (日本・韓国——福祉国家の再編と福祉社会の開発)』中央法規出版, 2006年12月, 257頁 (野口定久編。分担執筆「韓国福祉国家性格論争」107-123頁)

『東アジアの社会保障——日本・韓国・台湾の現状と課題』ナカニシヤ出版, 2009年6月, 205頁 (埋橋孝文・木村清美・戸谷裕之編。分担執筆「遅れてきた福祉国家——韓国の経験からの新しい示唆」29-58頁)

『한국복지국가성격논쟁Ⅱ (韓国福祉国家性格論争Ⅱ)』서울: 인간과복지 [人間と福祉], 2009年7月, 914頁 (정무권 [チョン・ムグォン] 編。分担執筆「복지국가전개에 있어서의 ‘선발국’ 과 ‘후발국’: 시간축의 도입을 통한 비교연구를 위해 [福祉国家展開における「先発国」と「後発国」——時間軸の導入による比較研究に向けて]」397-411頁)

『동아시아 사회복지와 사회투자전략: 사회투자전략의 비전과 가능성에 대한 모색 [東アジアの社会福祉と社会投資戦略——社会投資戦略のビジョンと可能性の模索]』서울: 나눔의집 [ナナムの家], 2010年7月, 272頁 (김교성・김연명・최영・김병철 [キム・ギョソン, キム・ヨンミョン, チェ・ヨン, キム・ピョンチョル] との共著。分担執筆「일본의 사회투자 [日本の社会投資]」161-230頁)

- 『어떤 복지국가에서 살고 싶은가[いかなる福祉国家で暮らしたいのか]』서울: 밌[میم], 2010년 11월, 295頁(이창곤 [イ・チャンゴン] 編, 分担執筆「일본: 정권교체와 복지정책의 행방 [日本——政權交代と福祉改革の行方]」 228-237頁)
- 『若者問題と教育・雇用・社会保障——東アジアと周縁から考える』法政大学出版局, 2011년 3월, 308頁(樋口明彦·上村泰裕·平塚眞樹編, 分担執筆「若者の貧困と社会保障——日本・韓国・台湾の福祉国家体制への示唆」91-115頁)
- 『지속가능한 한국형 복지체제 모색을 위한 선진복지국가 경험의 비교연구 [持続可能な韓国型福祉レジームの模索のための先進福祉国家経験の比較研究]』서울: 보건복지부·보건사회연구원 [保健福祉部·保健社会研究院], 2011년 3월, 557頁(김용하 [キム・ヨンハ] 他 14名との共著. 分担執筆「일본 [日本]」319-344頁)
- 『中国の弱者層と社会保障——「改革開放」の光と影』明石書店, 2012년 5월, 256頁(埋橋孝文·于洋·徐宋編, 分担執筆「失業者の社会保障」86-108頁)
- 『公共社会学2 少子高齢社会の公共性』東京大学出版会, 2012년 8월, 288頁(盛山和夫·上野千鶴子·武川正吾編, 分担執筆「福祉国家とポスト福祉国家の狭間で——中国の福祉改革のゆくえ」69-86頁)
- 『シリーズ福祉社会学1 公共性の福祉社会学——公正な社会とは』東京大学出版会, 2013년 2월, 280頁(武川正吾編, 分担執筆「ポスト「3つの世界」論の可能性——比較福祉国家研究における段階論と類型論」167-191頁)
- 『生活保護』ミネルヴァ書房, 2013년 3월, 277頁(埋橋孝文編, 分担執筆「韓国の国民基礎生活保障制度」244-257頁)
- 『생산적 복지와 경제성장: 복지국가의 사례분석 [生産的福祉と經濟成長——福祉国家の事例分析]』서울: 아산정책연구원 [アサン政策研究院], 2013년 5월, 436頁(김인춘·고명현·암논아란 [キム・インチュン, コ・ミョンヒョン, アムノン・アラン] との共著. 分担執筆「일본의 사회경제적 변화와 복지정책: '가족의존적' 복지국가의 위기 [日本の社会經濟的变化と福祉政策——「家族依存的」福祉国家の危機]」191-249頁)
- 『福祉社会学ハンドブック——現代を読み解く 98の論点』中央法規出版, 2013년 7월, 223頁(福祉社会学会編, 分担執筆「韓国の社会保障制度はどうか変わったのか」112-113頁)
- 『서울시 취약근로자의 노동시장 분석과 정책방향 [ソウル市脆弱労働者の労働市場分析と政策方向]』서울: 서울연구원 [ソウル研究院], 2013년 11월, 238頁(신경희·박은하 [シン・ギョンヒ, 박·운하] 編, 分担執筆「동경도비정규노동자고용환경정비지원사업 [東京都非正規労働者雇用環境整備支援事業]」200-211頁)
- 『東アジアの雇用・生活保障と新たなリスクへの対応』(東京大学社会科学研究所研究シリーズNo.56), 2014년 3월, 216頁(末廣昭編, 分担執筆「福祉国家化以降의 韓国福祉国家——「過酷な現実·不安な将来」의 諸相」57-78頁)
- 『世界はなぜ社会保障制度を創ったのか——主要9カ国の比較研究』ミネルヴァ書房, 2014년 4월, 381頁(田多英範編, 分担執筆「日本——戦後における社会保障制度の成立とその特徴」231-264頁)
- 『东亚地区社会保障论 [東アジア社会保障論]』北京: 人民出版社, 2014년 9월, 400頁(郑功成·武川正吾·金淵明編 [鄭功成·武川正吾·金淵明編]. 分担執筆「日本东亚福利国家研究中的武川-田多论争 [日本における東アジア福祉国家研究——「武川-田多論争」から考える]」287-296頁)
- 『東アジアにおける持続可能性のある高齢化社会構築のための方策』(アジア太平洋研究所東北アジア少子高齢化研究会報告書), 2015년 3월, 51頁(木村幹·杉本直俊·陳永峰·杉村豪一との共著. 分担執筆「韓国における高齢化雇用政策——「老人就労事業」を中心に」22-32頁)
- 『社会保障論』成文堂, 2015년 3월, 405頁(土田武史編, 分担執筆「家族政策」(松江曉子との共同執筆) 165-188頁)
- 『고용서비스 전달체계의 중앙-지방정부 역할분담 연구 [雇用サービスの供給体系における中央-地方政府の役割分担に関する研究]』서울: 고용노동부 [雇用労働部], 2016년 12월, 143頁(안상훈·정재훈·김보린·김연진·배은총 [アン・サンフン, チョン・ジェフン, 키ム·보린, 키ム·연진, 페·운총] との共著. 分担執筆「일본의 고용서비스 전달체계 [日本における雇用サービスの供給体系]」89-124頁)
- 『社会への投資——〈個人〉を支える, 〈つながり〉を築く』岩波書店, 2018년 3월, 320頁(三浦まり編, 分担執筆「社会的投資戦略の総合評価」(濱田江里子との共同執筆) 3-30頁, 「社会的投資戦略に求められるもの——韓国の経験と教訓」109-136頁)

(4) 論文

- 「新自由主義と福祉政策——韓国の「生産的福祉」からの一考察」『社会政策学会誌』第11号, 2004년 3월, 215-237頁
- 「일본에서의 한국 사회복지 연구동향과 과제 [日本における韓国社会福祉の研究動向と課題] 『상황과 복지 [狀況と福祉]』第18号, 2004년 8월, 123-152頁

- 「福祉社会」論の再考『ソシオロギス』No.28, 2004年9月, 63-79頁
- 「韓国福祉国家性格論争——その限界と新たな出発点」『大原社会問題研究所雑誌』第522号, 2004年11月, 35-50頁
- 「韓国における「遅れてきた福祉国家化」の経験——東アジア福祉論から後発型福祉国家論へ」『東京大学社会科学研究所ディスカッションペーパーシリーズ』J-155, 2007年4月, 1-34頁
- 「后发福利国家化论之可能性〔後発型福祉国家化論の可能性〕」『社会保障研究』总5期〔総5期〕, 中国人民大学中国社会保障研究中心・中国劳动社会保障出版社〔中国人民大学中国社会保障中心・中国労働社会保障出版社〕, 2007年6月, 105-127頁
- 「日本における福祉国家研究——2つの潮流とその合流」『東京大学社会科学研究所ディスカッションペーパーシリーズ』J-172, 2008年10月, 1-19頁
- 「李明博政権の福祉政策——方向転換か変わらぬ道か」『Int'lccowk: 国際経済労働研究』第63号, 2008年12月, 13-18頁
- 「日本と韓国の社会と社会保障」(山本克也との共同執筆)『海外社会保障研究』第167号, 2009年6月, 4-17頁
- 「일본 복지국가연구의 계보와 ‘다케가와-타다노정’: 동아시아 비교연구의 과제〔日本における福祉国家研究の系譜と「武川-田多論争」——東アジア比較研究の課題〕」『한국사회정책〔韓国社会政策〕』第16集第1号, 2009年7月, 235-270頁
- Socioeconomic Changes and Welfare Reform in Korea: in the Context of Late-coming Welfare State, *International Journal of Japanese Sociology*, No.18, 2009年12月, 4-15頁。
- 「社会保障からみるディーセント・ワークの課題」『連合総研レポートDIO』No.256, 2011年1月, 10-12頁
- 「日本と韓国における失業・貧困対策——二層体制の歴史的・構造的特徴」『週刊社会保障』No.2611, 2011年1月, 58-63頁
- 「韓国における若者の生活困難と社会保障①~③」『月刊福祉』94(2)・94(3)・94(5), 2011年2・3・4月, 88-91, 88-91, 90-93頁
- 「福祉システムをめぐる日韓の比較」『第23回社研シンポジウム(日韓学術共同シンポジウム)資料集』東京大学社会科学研究所, 2011年2月, 49-61頁
- 「일본의 정권교체와 복지개혁: 실업·빈곤대책을 중심으로〔日本における政権交代と福祉改革——失業・貧困対策を中心に〕」『아세아연구〔亜細亜研究〕』No.143, 2011年3月, 22-49頁
- 「韓国の年金制度と女性——後発国の文脈から」『海外社会保障研究』No.175, 2011年6月, 70-82頁
- 「後発福祉国家としての日本——全部雇用政策と国民皆保険・皆年金体制の結合」『週刊社会保障』No.2667, 2012年2月, 44-49頁
- 「後発福祉国家における雇用保障政策」『社会科学研究』第63巻第5・6号, 2012年3月, 35-53頁
- 「格差社会の中の韓国の若者」『社会福祉研究』第114号, 2012年7月, 92-97頁
- 「過酷な若年雇用事情は変わるのか——恋愛・結婚・出産を諦める「三抛族」の若者たち」『中央公論』2013年1月号, 2013年1月, 124-129頁
- 「後発福祉国家としての韓国——日本との比較」『週刊社会保障』No.2716, 2013年2月, 44-49頁
- 「東アジア福祉国家を世界史のなかに位置付ける——その理論的意味と方法論的視点」『社会政策』第5巻第2号, 2013年12月, 21-35頁
- 「韓国福祉国家の全体像——後発国の文脈から」『週刊社会保障』No.2774, 2014年4月, 50-55頁
- 「福祉国家から社会投資国家へ?——韓国の経験」『生活経済政策』No.214, 2014年11月, 28-31頁
- 「社会学における韓国研究の意義と可能性」(春木育美との共同執筆)『現代韓国朝鮮研究』第14号, 2014年11月, 17-30頁
- 「일본시민복지기준의 특성과 부산시 적용과제〔日本の市民福祉基準の特性と釜山市への適用課題〕」『부산시민복지기준수립을 위한 정책세미나자료집〔釜山市民福祉基準樹立のための政策セミナー資料集〕』釜山福祉開発院, 2015年4月, 63-82頁
- 「福祉国家の日韓比較からの新たな問題提起——福祉レジーム論を考え直す」『週刊社会保障』No.2830, 2015年6月, 50-55頁
- 「韓国——増加する単独世帯者の高学歴化と高齢化」(金炫成との共同執筆)『アジア研ワールド・トレンド』No.238(特集: 人口センサスからみる東アジアの社会変動), 2015年8月, 12-16頁
- 「経済協力から社会協力へ向かう日韓関係——共通基盤形成への途」『RIM 環太平洋ビジネス情報(別冊)』2015年12月号(国交正常化50周年特集: 日韓経済関係の現状と今後), 2015年12月, 100-116頁

「福祉レジーム論からみた東アジア——韓国」『海外社会保障研究』No.193, 2016年3月, 6-17頁
「高齢者の生活保障——韓国的特質とその意味」『週刊社会保障』No.2888, 2016年8月, 50-55頁
「現役世代の生活基盤から考える韓国の年金問題」『現代韓国朝鮮研究』第17号, 2017年12月, 30-41頁

(5) 訳書

[単訳:韓国語訳] 『일본의 사회복지정책과 복지국가론 [日本の社会政策と福祉国家論]』 서울: 인간과복지 [人間と福祉], 2004年10月, 412頁 (原著:武川正吾『社会政策のなかの現代』東京大学出版会, 1999年)
[共訳:日本語訳] 『韓国福祉国家性格論争』(李蓮花他6名との共訳) 流通経済大学出版会, 2006年1月, 433頁 (原著:김연명 [金淵明] 編『한국복지국가성격논쟁 [韓国福祉国家性格論争]』 서울: 인간과복지 [人間と福祉], 2002年)
[共訳:韓国語訳] 『한국과 일본의 복지국가레짐 비교연구 [韓国と日本の福祉国家レジーム比較研究]』(成根樹との共訳) 서울: 인간과복지 [人間と福祉], 2007年2月, 365頁 (原著:武川正吾, 이·へギョン編『福祉レジームの日韓比較』東京大学出版会, 2006年)
[共訳:韓国語訳] 『일본의 사회보장: 이론과 분석 [日本の社会保障——理論と分析]』 (鄭在哲・羅仁淑との共訳) 서울: 인간과복지 [人間と福祉], 2008年4月, 326頁 (原著:田多英範『現代日本社会保障論』光生館, 1994年)
[共訳:韓国語訳] 『일본의 개호보험제도 [日本の介護保険制度]』(鄭在哲・文成賢との共訳) 서울: 인간과복지 [人間と福祉], 2009年3月, 381頁 (原著:①増田雅暢『介護保険見直しの争点』法律文化社, 2003年; ②増田雅暢『介護保険見直しへの提言』法研, 2004年)

(6) 書評

①. 호리데이他編, 埋橋孝文他訳 『東アジアの福祉資本主義——教育, 保健医療, 住宅, 社会保障の動き』『社会政策研究』第8号, 2008年5月, 288-293頁
「李蓮花『東アジアにおける後発近代化と社会政策——韓国と台湾の医療保険政策』『中国研究月報』第66巻第1号, 2012年1月, 43-45頁
「春木育美・薛東勳編『韓国の少子高齢化と格差社会——日韓比較の視座から』『現代韓国朝鮮研究』第14号, 2014年11月, 82-86頁
「大沢真理『生活保障システムのガバナンス——ジェンダーとお金の流れで読み解く』『季刊社会保障研究』第50巻第4号, 2015年3月, 477-480頁
「大西裕『先進国・韓国の憂鬱——少子高齢化, 経済格差, グローバル化』『現代韓国朝鮮研究』第15号, 2015年11月, 110-116頁
「金早雪『韓国・社会保障形成の政治経済学——国家と国民生活の変容』『アジア経済』第58巻大4号, 2017年12月, 76-80頁

(7) コラム・新聞記事

「福祉国家の諸類型」塩原良和・竹ノ下弘久編『社会学入門』弘文堂, 2010年11月, 249頁
「福祉国家」藤村正之編『いのちとライフコースの社会学』弘文堂, 2011年11月, 270頁
「オピニオン: 韓国福祉国家を論じる」(第1~19回)『東洋経済日報』, 2014年3月~2015年10月
「社会保障の国際比較」土田武史編『社会保障論』弘文堂, 2015年3月, 364頁
「韓国の高齢者の居場所「思い出プラス」」笹川平和財団 nippon.com シリーズレポート「老いる日本, あとを追う世界」, 2016年11月, <http://www.nippon.com/ja/features/c02808/>
「月溪総合社会福祉館の「美しい隣人」事業」笹川平和財団 nippon.com シリーズレポート「老いる日本, あとを追う世界」, 2016年12月, <http://www.nippon.com/ja/features/c02809/>

(8) 学会発表・講演 (招聘講演・発表と国際学会での発表に限る)

[招聘講演] 「일본에서의 한국 사회복지 연구 동향과 과제 [日本における韓国社会福祉研究の動向と課題]」 중앙대학교 사회복지대학원 특별강연회 [中央大学校社会福祉大学院特別講演会], 中央大学校 (韓国), 2004年6月9日
[国際学会発表] Welfare States in 'Time': A New Idea for the Study on East Asian Welfare States, 高齢化と地域福祉に関する日中韓国際会議, 東京大学, 2007年5月26日
[招聘講演] 「韓国福祉国家性格論争を日本からみて」同志社社会福祉国際講演会, 同志社大学, 2007年6月22日
[国際学会発表] Time, Path-Dependence, Configuration of Variables: Making Sense of Similarities and Differences in Comparison of Japanese and Korean Welfare Regimes (鄭武權との共同発表), 4th EASP International Conference, 東京大学, 2007年10月20日

- [招聘発表] 「遅れてきた福祉国家——韓国からの新しい視座」大阪産業大学アジア共同体研究センター国際シンポジウム「東アジアの社会保障——日本、韓国、台湾の相互比較」, 大阪産業大学, 2008年7月26日
- [国際学会発表] 「日本における福祉国家研究」と韓国比較論争 [日本における福祉国家研究と韓国比較論争] 비판과 대안을 위한 사회복지학회 2009년 춘계학술대회 [批判と代案のための社会福祉学会 2009年春季学術大会], 順天郷大学校 (韓国), 2009年6月5日
- [招聘講演] 「복지국가 일본: 과거·현재·미래 [福祉国家日本——過去·現在·未来]」 서울대학교 사회복지학과 특강 [ソウル大学校社会福祉学科特講], ソウル大学校 (韓国), 2011年6月26日
- [招聘発表] 「東アジア比較福祉国家論と少子高齢化」東北大学東アジア重点戦略支援プロジェクト高齢社会工業政策研究部門・特別シンポジウム, 東北大学, 2011年8月29日
- [招聘発表] 「韓国における少子高齢化問題」東北大学東アジア重点戦略支援プロジェクト高齢社会工業政策研究部門・特別シンポジウム, 東北大学, 2011年8月29日
- [招聘発表] 「日本における韓国福祉国家研究——多様なアプローチとその意義・課題」現代韓国朝鮮学会第12回研究大会「共通テーマ: 朝鮮半島研究をどうするか——ディシプリンとの関係の中で」, 神戸大学, 2011年11月19日
- [招聘発表] 「東アジア比較福祉国家論の論点と課題」国立社会保障・人口問題研究所社会保障の給付と財政のあり方に関する研究会, 国立社会保障・人口問題研究所, 2011年12月16日
- [招聘発表] 「後発福祉国家における雇用保障と社会保障」山口大学大学院東アジア研究科・プロジェクト研究ワークショップ, 山口大学, 2012年3月16日
- [招聘発表] 「1960-70년대 일본 Civil Minimum 논의 전개: 그 역사적 의의와 현대적 과제 [1960~70年代の日本におけるシビルミニマム論の展開——その歴史的意義と現代的課題]」 서울시민복지기준설정세미나 [ソウル市民福祉基準設定セミナー], ソウル特別市庁, 2012年5月10日
- [招聘発表] 「韓国における福祉国家のゆくえ——李明博政権の成果と次期政権の展望」現代韓国朝鮮学会第13回研究大会「公開シンポジウム: 新指導者の朝鮮半島——李明博政権の総括と大統領選挙後の展望」, 早稲田大学, 2012年11月11日
- [招聘発表] 「後発福祉国家における雇用保障と社会保障——日本と韓国の経験」社会政策学会関西部会特集「東アジア社会政策論の構築と方法」, 大阪経済大学, 2012年12月1日
- [招聘講演] 「東アジア福祉国家をどう捉えるか——韓国の経験から」同志社大学社会福祉教育・研究センター講演会, 同志社大学, 2013年7月31日
- [国際学会発表] 「日本と韓国における雇用保障と社会保障——後発福祉国家の文脈から」第9回社会保障国際論壇, 浙江大学 (中国), 2013年8月26日
- [招聘発表] 「福祉国家化以降の韓国福祉国家」東京経済大学国際フォーラム「日本と韓国における国際協力・経済発展・社会保障の現状と展望」, 東京経済大学, 2013年9月17日
- [招聘発表] 「福祉国家化以降の韓国福祉国家——後発国の模索」東京大学コリア・コロキウム 2013年度第2回, 東京大学, 2013年11月21日
- [招聘発表] 「韓国における高齢者の生活保障——公的年金制度を中心に」 Tokyo Keizai University International Symposium: Eldercare Policy and Life Security in North Europe and East Asia, 東京経済大学, 2014年2月1日
- [招聘発表] 「比較福祉国家論からみた東アジア」大分大学大学院福祉社会科学研究所・福祉社会科学研究会, 大分大学, 2015年12月7日
- [招聘発表] Aging in Asia and Korea, Aging in Asia: Demographic Trends & Implications, National University of Singapore Public Lecture, National University of Singapore, 2016年8月19日
- [招聘発表] 「韓国はいかに高齢者の生活を保障しているのか——所得保障・雇用保障・サービス保障の特徴とその意味」現代韓国朝鮮学会第17回研究大会「共通論題: 高齢化する韓国社会——その帰結と課題」, 京都大学, 2016年11月27日
- [招聘講演] 「比較福祉国家論と東アジア——韓国を中心に」大阪市立大学大学院創造都市研究科ワークショップ, 大阪市立大学, 2016年12月9日
- [招聘発表] 「アジアと韓国の高齢化をどうみるか」トヨタ財団国際シンポジウム「アジアの高齢化と周辺課題——実践現場の対応策を共有する」, コリアナホテル (韓国), 2017年2月28日

3. 主な社会活動

(1) 非常勤講師

法政大学社会学部非常勤講師 (2006 年度)

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部非常勤講師 (2011～2017 年度)

東京経済大学経済学部非常勤講師 (2016 年度)

(2) 学会

社会政策学会日本・東アジア社会政策専門部会事務局 (2010 年 5 月～現在)

社会政策学会国際交流委員 (2012 年 4 月～2015 年 3 月)

韓国社会政策学会国際協力委員 (2012 年 6 月～現在)

福祉社会学会編集委員 (2013 年 4 月～2015 年 3 月)

現代韓国朝鮮学会編集委員 (2015 年 1 月～2016 年 10 月)

日本地域福祉学会選挙管理委員 (2016 年 10 月～現在)

福祉社会学会理事 (2017 年 5 月～現在)